

米国の核兵器投下の責任を問い質す原爆国際民衆法廷



第2次

国際討論会

2024.6.7~8 広島

イベントの紹介

原爆国際民衆法廷実行委員会は韓国原爆被害者を原告として、1945年の米国の核兵器投下の責任を問う原爆国際民衆法廷プロジェクト(2026年、ニューヨークにおいての開催予定)を推進しています。その準備過程としての第2次国際討論会を、去年の第一次に続き、2024年6月に日本の広島で開催します。

わが実行委員会は、韓国原爆被害者の立場から米国の核兵器投下の歴史的意味と、現時点での核兵器使用及び(拡張)抑止の不法性を明すことで、韓国原爆被害者たちの無念を慰め、核対決と抑止論を克服し、朝鮮半島の非核化と核なき世界の具現の道を探し出そうという旨で「第2次国際討論会」を設けました。

期間及び場所

2024年6月7日(金)~6月8日(土)
広島国際会議場 コスモスホール

- ・6月7日: 韓国原爆被害者慰霊祭、平和公園見学、意見交換の場
- ・6月8日: 原爆国際民衆法廷第2次討論会

参加申込み



6月8日(土), 国際討論会

- 01 テーマ: 韓国被爆者の立場から見る米国の広島・長崎への核兵器投下の歴史的意味
- 02 テーマ: 1945年の米国の核兵器投下以降の国際法-特に国際人道法-から見る核兵器使用の不法性
- 03 テーマ: (拡張)抑止の不法性と、その朝鮮半島・北東アジアの平和との両立不可能性及び克服方案

6月7日(金), Round Table: 原爆国際民衆法廷開催の国際組織委員会の構成のための意見収斂
(参加対象: 海外招待者)



第2次 国際討論会



6月7日(金) 広島平和公園

午後	韓国原爆被害者慰霊祭 (韓国人原爆犠牲者慰霊碑前)
	広島平和記念資料館訪問
	Round Table <原爆国際民衆法廷開催の国際組織委員会の構成のための意見収斂> 広島国際会議場 コスモスホール 参加対象: 海外招待者 発表: 平和と統一を開く人たち(SPARK) 討論: ブラッド・ウルフ(Merchants of Death War Crimes Tribunal), ジョセフ・エッセルティエ(World Beyond War), マーガレット・エンゲル(Peace Action New York State), エリオット・アダムス(Veteran for Peace), 川崎哲(Peace Boat), キム・ガブソン(Korean American Peace Fund)

6月8日(土), 第2次国際討論会 広島国際会議場 コスモスホール

テーマ 1. 韓国被爆者の立場から見る米国の広島・長崎への核兵器投下の歴史的意味	
午前	発表: オ・ウンジョン (江原大学文化人類学教授) 討論: オ・ドンソク (亞洲大学 法学専門大学院 教授), 大久保賢一 (日本反核法律家協会会長), 吉澤文寿 (新潟国際情報大学教授)
テーマ 2. 1945年の米国の核兵器投下以降の国際法-特に国際人道法-から見る核兵器使用の不法性	
午後	発表: ダニエル・リエチカー (国際反核法律家協会共同会長), 山田壽則 (明治大学兼任講師), モニーク・コーミエ (モナシュ大学法学部上級講師) 討論: マーニー・ロイド (ウェリントン大学法学部上級講師), マンフレッド・モア (ウラン兵器を禁止する国際連合(ICBUW)代弁人)
テーマ 3. (拡張)抑止の不法性と、その朝鮮半島・北東アジアの平和との両立不可能性及び克服方案	
午後	発表: チャールズ・モクスリー (フォーダム大学法学専門大学院 教授), アンナ・フッド (オークランド大学法学部上級講師) 討論: コ・ヨンデ (平和統一研究所常任研究委員), ジョン・キエルフ (軍縮研究者)

